

細胞アッセイ研究会シンポジウム2021

開催趣意書

開催日:2022年 1月25日(火)

会 場:Microsoft Teamsによるオンライン

ご挨拶

謹啓

秋風が爽やかな季節、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は細胞アッセイ研究会の活動にご理解とご協力をいただき、感謝いたします。細胞アッセイ研究会は、新しい細胞アッセイ技術を医薬品や農薬、化粧品などの研究者、開発者の皆様にご紹介するプラットフォームとして10年以上前に設立され、活動を続けて参りました。最も大きなイベントは年に1度開催するシンポジウムで、年を追う毎に参加者が増え、昨年度は250名の方々においで頂きました。参加者の半分以上が細胞アッセイ技術のユーザーや製品化を目指す企業の方々に、設立の目的を十分に達成していると自負しております。

シンポジウムは、テーマを絞った基調講演と、細胞アッセイ技術全般に関する研究発表(ポスター形式)から構成されています。組織委員の方々のご相談し、今年の基調講演のテーマはMPS (Microphysiological System)を中心にする事といたしました。日本医療研究開発機構 によるMPSの社会実装を目指す事業は今年度末で終了しますが、そのお陰もあって、我が国においてもMPSについて相応に衆知されたと思われま。

そこで第1部では、MPSとは何か?、について参加者の皆様と議論を深めたいと思います。ご承知の通り、米国食品医薬品局では”Advancing Alternative Methods at FDA”(Jan., 2021)の中でMPSを明確に位置付けています。我が国においても、同様な議論は必須であると考えております。

第2部では、MPSで得られるデータの取り扱いに関する基調講演をお願いしています。一つは、標準化や規制対応、あるいは薬事申請への適用を視野に入れた議論、もう一つは数理シミュレーションの高度化にMPSが利活用できないか、という視点です。

本シンポジウムの趣旨をご理解頂き、是非皆様のご支援とご協力を頂けますようお願い申し上げます。

謹白

2021年10月吉日

細胞アッセイ研究会シンポジウム組織委員会

代表 金森 敏幸

(国立研究開発法人産業技術総合研究所細胞分子工学研究部門)

開催概要

1. 大会の名称

細胞アッセイ研究会シンポジウム2021

2. 開催日

2022年 1月25日(火)

3. 開催方法

Microsoft Teamsを用いたオンライン

4. 主催・共催・協賛

主催： 細胞アッセイ研究会

共催： 公益社団法人化学工学会バイオ部会

国立研究開発法人産業技術総合研究所細胞分子工学研究部門

協賛： 安全性評価研究会

一般財団法人バイオインダストリー協会(予定)

一般社団法人化学とマイクロ・ナノシステム学会

NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議

日本動物実験代替法学会

特定非営利活動法人エイチ・エー・ビー研究機構(予定)

公益社団法人日本生物工学会次世代アニマルセルインダストリー研究部会

一般社団法人日本薬物動態学会

特定非営利活動法人情報計算法学生物学会

薬物動態談話会

5. プログラム概要

・別紙1参照

・基調講演 1セッションと3演題

・ポスター発表(オンライン形式) 50演題(予定)

・製品紹介(オンライン形式)

6. 参加予定人員

約 200 名

7. 収支予算書

別紙2参照

8. 組織委員会

安西 尚彦(千葉大学大学院医学研究院)

石田 誠一(国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター)

加藤 将夫(金沢大学医薬保健研究域)

柿木 基治(エーザイ株式会社筑波研究所)

金森 敏幸 (国立研究開発法人産業技術総合研究所創薬基盤研究部門)
清川 順平 (中外製薬株式会社安全性研究部)
小島 肇 (国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター)
斎藤 幸一 (住友化学株式会社先端材料開発研究所)
酒井 康行 (東京大学大学院工学系研究科)
薩川 正広 (科研製薬株式会社経営企画部)
杉浦 慎治 (国立研究開発法人産業技術総合研究所創薬基盤研究部門)
田端 健司 (アステラス製薬株式会社薬物動態研究所)
平林 英樹 (武田薬品工業株式会社薬物動態研究所)
山田 泰弘 (日本薬科大学)
山下 伸二 (摂南大学薬学部)
渡邊 健悟 (第一三共株式会社薬物動態研究所)

9. ホームページ

<https://cell-based-assay.jp/>

10. お申込み・お問合せ窓口

金森 敏幸

国立研究開発法人産業技術総合研究所

細胞分子工学研究部門

〒305-8565 茨城県つくば市東1-1-1 つくば中央第五事業所

Tel 029-861-6286

Fax 029-861-6278

E-Mail t.kanamori@aist.go.jp

要旨集広告募集要項

1. 印刷部数

要旨集 250部(予定)

※シンポジウム参加者及び協賛企業へ配布予定

2. 発行日

2022年1月初旬

3. 規格

A4判 約80頁 (天地 29.7 cm × 左右 21 cm)

4. 入稿形態

ファイル、紙焼、清刷、データのいずれかで入稿

※データ入稿の場合は、必ず校正紙を添付してください。

5. 広告掲載規格と掲載料

希望枠	枠数	掲載料	色
表 2または3頁	2 枠	5 万円	カラー
後付1頁	10 枠	2 万円	カラー

6. お申込みおよび入稿締切日

2021年11月26日(金)必着

7. お申込み方法

別添の「要旨集広告申込書」に必要事項をご記入の上、下記8までお送りください。お申込み状況によりましてはご希望の枠をご用意できない場合もございますので、お早めにお申込みいただくことをお勧めいたします。

お申込書を受領いたしましたら、確定のご連絡とともに請求書・お振込先情報・入金期限・入稿手引き等をご案内させていただきます。

8. お申込み・お問合せ先

金森 敏幸

国立研究開発法人産業技術総合研究所

細胞分子工学研究部門

〒305-8565 茨城県つくば市東1-1-1 つくば中央第五事業所

Tel 029-861-6286

Fax 029-861-6278

E-Mail t.kanamori@aist.go.jp

協賛金募集要項

1. 協賛金額

1口 20,000 円より

2. 協賛特典

- ・要旨集に御社名を掲示し、謝意を表します。
- ・1口につき1名様を本大会へご登録いたします。
- ・2口以上につき大会ホームページにバナー広告を掲載いたします。

3. 協賛金の使途

細胞アッセイ研究会シンポジウム2021の開催運営費に充当する。

4. お申込み締切日

2021年11月26日(金)必着

※締切後も開催直前まで受け付けは可能ですが、要旨集への御社名掲載が間に合わない可能性がございますので、詳細は下記6へお問い合わせください。

5. お申込み方法

- ・別添の「協賛金申込書」に必要事項をご記入の上、下記6までお送りください。
- ・お申込書を受領いたしましたら、確定のご連絡とともに振込先情報・入金期限・バナー広告入稿手引き等をご案内させていただきます。

6. お申込み・お問合せ先

金森 敏幸

国立研究開発法人産業技術総合研究所

細胞分子工学研究部門

〒305-8565 茨城県つくば市東1-1-1 つくば中央第五事業所

Tel 029-861-6286

Fax 029-861-6278

E-Mail t.kanamori@aist.go.jp

オンライン製品紹介募集要項

1. 概要

シンポジウム開催時間(2022年 1月25日(火) 9:30~17:30)、Microsoft Teamsの会議室を1室提供しますので、自由にお使い下さい。ホームページや要旨集、プログラムで、参加者に対してオンライン製品紹介を案内します。

2. 参加料

20,000円/オンライン会議室

3. 参加特典

- ・要旨集に御社名を掲示し、謝意を表します。
- ・1名様をシンポジウムにご登録いたします。

4. お申込み締切日

2021年11月26日(金)必着

5. お申込み方法

別添の「オンライン製品紹介申込書」に必要事項をご記入の上、下記6までお送りください。お申込書を受領いたしましたら、確定のご連絡とともに請求書・お振込先情報・入金期限等をご案内させていただきます。

6. お申込み・お問合せ先

金森 敏幸

国立研究開発法人産業技術総合研究所

細胞分子工学研究部門

〒305-8565 茨城県つくば市東1-1-1 つくば中央第五事業所

Tel 029-861-6286

Fax 029-861-6278

E-Mail t.kanamori@aist.go.jp

プログラム(予定)

全てMicrosoft Teamsによるオンラインでの開催となります

9:50 準備・諸連絡

10:00 MPS とは? ~ あらためて定義を考える ~

1) 話題提供 1: Context of Use から

奈良岡 準 (幹細胞評価基盤技術研究組合)

2) 話題提供 2: Regulatory Science から

石田 誠一 (崇城大学生物生命学部)

3) パネルディスカッション(モデレーター:石田 誠一)

奈良岡 準 (幹細胞評価基盤技術研究組合)

手塚 和宏 (アステラス製薬薬物動態研究所)

前田 和哉 (北里大学薬学部)

酒井 康行 (東京大学大学院工学系研究科)

11:30 MPS により集積されたデータを利活用したアッセイ法開発とその標準化

伊藤 弓弦 (筑波大学生命環境系)

~ 休憩 ~

13:30 MPS による Quantitative Systems Pharmacology の高度化への期待(仮題)

楠原 洋之 (東京大学大学院薬学系研究科)

14:30 MPS と数理モデルを用いた生体ネットワークの理解に向けて

杉本 昌弘 (東京医科大学医学総合研究所)

15:30 ポスター発表

17:30 閉会

別紙2

予 算 案

収入の部			合計	780,000
	参加費	@3,000円×200		600,000
	企業賛助金	広告・協賛・製品紹介		180,000
支出の部			合計	780,000
	基調講演謝礼	@20,000円×3, @10,000円×2		80,000
	印刷費	パンフレット・ポスター		100,000
		要旨集		300,000
	事務経費	振込手数料, クレジット決済手数料, ホームページ管理費		300,000
収支				0